

# NOSAI 福島 獣医師職員募集 ガイド



## NOSAI の理念

農業は「緑」「土」「水」を守り  
豊かな食料を供給する産業です。  
わたくしたち NOSAI は  
みずからの知と技を磨き  
信頼の絆によって損害の防止と補てんに努め  
日本農業の発展と  
うるおいのある社会づくりに貢献します。



安心のネットワーク

**NOSAI 福島**

福島県農業共済組合

# ほんとの空がある NOSAI 福島で 働いてみませんか？

福島県は、東に太平洋に沿った長い海岸線を、西には名峰磐梯山をはじめとする美しい山々と高原を配し、阿武隈川の豊かな流れが中央を南北に貫く山紫水明の地、そして全国有数の農業県、畜産県でもあります。

NOSAI 福島の家畜診療センターは、家畜共済加入家畜の診療はもとより一般の家畜衛生や飼養管理の指導面においても、農家に密着した地域の基幹診療施設として高く評価されております。また、損害防止活動や家畜共済事業の推進にも大きな役割を果たしております。

産業動物獣医師の職務は、産業動物臨床分野での多様且つ高度な医療技術の提供はもとより、食の安全・安心の確保など幅広い分野に及びます。そのため、公共性の高い専門職としてその果たすべき役割は極めて重要であります。

NOSAI 福島獣医師職員として多くの獣医師スタッフとともに、その高度な専門知識を生かして地域畜産振興の一翼を担う情熱と意欲を持つ若者の参画を期待しております。



# NOSAI 家畜診療センターネットワーク

NOSAI 福島では、6か所の家畜診療センターと家畜臨床技術研修所を設置し、県内全域の家畜の診療や損害防止活動などを行っております。

NOSAI 家畜診療センターは畜産情勢に対応した損害防止・予防衛生活動を強化し、高度な獣医療の提供と地域診療体制の一層の充実を目指しています。

■家畜診療センター  
■家畜臨床技術研修所

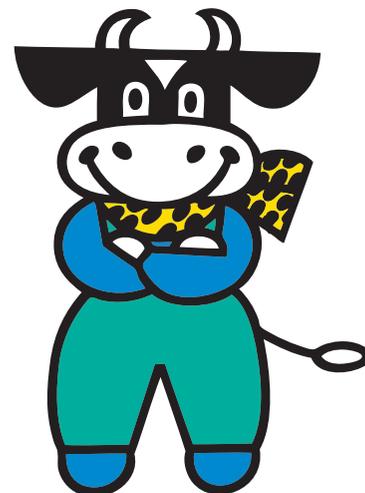


## ◇福島県畜産の概要 (令和4年2月1日現在)

	乳用牛	肉用牛
飼養戸数 (戸)	263	1,650
飼養頭数 (頭)	11,600	49,400

## ◇家畜共済の加入頭数 (令和4年度実績)

		乳用牛	肉用牛
死亡廃用共済	引受戸数 (戸)	291	2,652
	引受頭数 (頭)	7,875	45,293
疾病傷害共済	引受戸数 (戸)	181	1,365
	引受頭数 (頭)	6,723	25,824

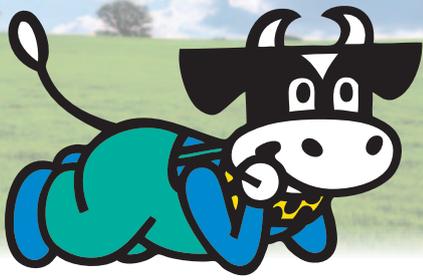


## ◇家畜診療センターの診療件数 (令和4年度実績)

	乳用牛	肉用牛
診療件数 (件)	2,977	12,442

## ◇NOSAI 福島では、34名の獣医師が活躍しています。(令和5年4月1日現在)

学 校 名	獣医師数	(うち女性)
北海道大学	1名	0名
酪農学園大学	5名	1名
北里大学	8名	1名
岩手大学	5名	2名
東京大学	1名	0名
日本獣医生命科学大学	2名	1名
麻布大学	6名	1名
日本大学	5名	2名
鳥取大学	1名	0名
計	34名	8名



## Q & A

### ◇応募資格者は？

獣医師免許及び普通自動車運転免許取得者(取得見込者も含まれます。)そして福島県内の家畜診療センターに勤務し、産業動物の診療に情熱を捧げられる方です。

### ◇応募方法は？

NOSAI 福島の採用願書に関係書類を添えて提出してください。  
(ホームページに掲載済みです。)

### ◇選考及び採用の方法は？

書類審査及び面接試験により採用内定者を決定します。(書類審査は、本組合の医療職種との関連等について審査します。)そして、採用内定者のうち獣医師国家試験合格者を採用とします。

### ◇採用後勤務内容及び場所は？

約3か月の基礎臨床研修の後、福島県内の本組合家畜診療センターに配属され、臨床獣医師として勤務することになります。

### ◇待遇面は？

給与は、福島県農業共済組合職員給与規則により支給されます。給与体系は、福島県職員給与に準じ、県人事委員会勧告に伴い改定されます。

手当として扶養手当、住居手当、単身赴任手当、期末・勤勉手当、寒冷地手当、医療職手当、初任給調整手当、超過勤務手当、日直手当(当番制)があります。

### ◇勤務時間や休暇は？

勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分です。

休日は、土曜日、日曜日及び国民の祝日(振替休日含む。)及び年末年始(12月29日から翌年1月3日)です。

休暇は、年次有給休暇20日(採用年15日)、夏季休暇5日、その他(結婚・出産・忌引・父母、配偶者、子の祭日)、病気などの休暇があります。

### ◇診療技術の向上は？

飼養形態の変化や畜産技術の進歩に伴い、獣医師も高度な知識、専門的な技術を常に要求されます。家畜診療技術研究体験発表会や外部講師を招いての獣医師職員研修会及び県内外での研修会、各種学会にも積極的に参加して知識や技術を研鑽しています。

## ◇臨床実習の受入は？

家畜診療センターでは、臨床実習を随時受け入れています。NOSAI 福島のホームページの『臨床実習受付中』にある臨床実習実施要領を確認のうえ、メールにて問合せをお願いします。

また、臨床実習生に対して臨床実習期間の宿泊費の一部助成も行っています。

臨床実習を通して、大動物相手のダイナミックな診療やNOSAI 獣医師のバイタリティーある診療を現場で感じてください。

そして、その魅力を感じたら是非わたしたちの仲間になりませんか？

## 農業共済新聞より要約《東奔西走 NOSAI獣医師》

令和3年10月3週号より

NOSAI 福島（福島県農業共済組合）では、県内6か所に家畜診療センターを配置し、30人の獣医師が診療などにあたっています。

家畜の病気やけがの治療、人工授精や妊娠鑑定などを行う獣医師は、畜産農家にとって心強い味方です。診療現場で活躍する浜通り家畜診療センターの徳村芳彦獣医師の1日に密着取材しました。

徳村獣医師は令和2年採用の2年目で、勤務する浜通り家畜診療センターでは診療依頼を3人で振り分け、取材日は4戸を担当することとなり、医療品を補充・確認して出発しました。

1件目は、センターから南に約60kmに位置する繁殖農家で妊娠鑑定と繁殖障害の治療を行いました。農家さんは、「遠いエリアでも、土日や夜も来てもらえて助かっている」と話します。

2件目は、センターから北西に10kmの繁殖農家で乳房炎の疑いで乳汁検査を実施し、抗生剤を投与し経過観察としました。

3件目は、近くの繁殖農家で子牛の化膿病巣の外科処置を施しました。農家さんは「若い先生は日々勉強をしていて頼りになる」と話します。去勢の予約を受けて次の診療へ向かいました。4件目は、センターから西へ8kmの肥育農場で肺炎を再診察し、経過も良好であったことから農場長も安堵した様子でした。

途中、下痢による追加診療を行った後、17時15分に診療センターに帰着しました。1日の移動距離は150kmに及び、診療したカルテを整理した後に明日の診療の準備をして帰宅しました。



化膿病巣の外科処置をする様子

# 福島県農業共済組合の概要

## ■ 沿革

平成28年4月1日に福島県内の9つの農業共済組合が合併し「福島県農業共済組合」が設立された。

平成29年6月に「農業災害補償法」は「農業保険法」に改称され、農業経営の安定を図るため、従来の農業共済事業に加え農業経営収入保険事業が創設された。

## ■ 業務内容

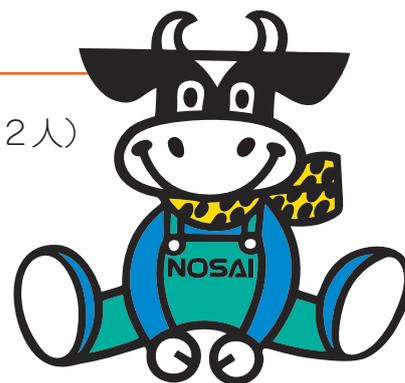
農業保険法に基づき、農作物共済（水稻・麦）、家畜共済、果樹共済（りんご、ぶどう・なし・もも・かき）、畑作物共済（ばれいしょ・大豆・そば・蚕繭）、園芸施設共済、建物共済、農機具共済、保管中農産物補償共済の8事業について共済事業を実施するとともに、農業経営収入保険事業を受託し、県内約6万農家の経営安定と農業再生産に寄与している。

## ■ 業務機構

本組合の本所は、組合長、専務理事、参事のもと、3部1室（総務部、収穫保険部、家畜任意部、監査室）、8課（総務課、経理課、企画情報課、収入保険課、農産課、果樹園芸課、建物農機具課、家畜診療課）の執行体制をとり、県内に支所4か所及び出張所6か所、家畜診療センターを6か所（県北、郡山田村、いわせ石川、白河、会津、浜通り）に設置しているほか、家畜臨床技術研修所を設けている。

## ■ 職員数

【本所】	一般職	50人（うち女性10人、獣医師2人）
【支所】	一般職	123人（うち女性23人）
【出張所】	一般職	105人（うち女性16人）
【家畜診療センター】		
	医療職	32人（うち女性7人）
【総数】		310人



## 願書の提出・お問い合わせ先

### 福島県農業共済組合 総務部総務課

〒960-8031 福島市栄町6番6号 ユニックスビル6F

TEL 024(521)2715 FAX 024(523)1887

〈URL〉<https://www.fukushima-nosainet.jp/>



NOSAIのホームページ  
はこちらから